

# ～調査結果から～

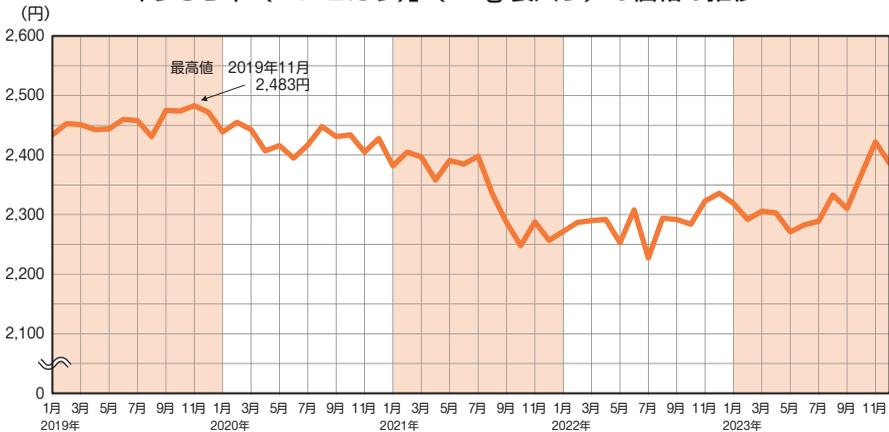
小売価格の推移（東京都区部）

## うるち米

2019年から2023年までの「うるち米（コシヒカリ）」の価格推移をみると、2020年から2022年は下落していましたが、2023年からは上昇傾向となっています。



「うるち米（コシヒカリ）」（5kg 袋入り）の価格の推移





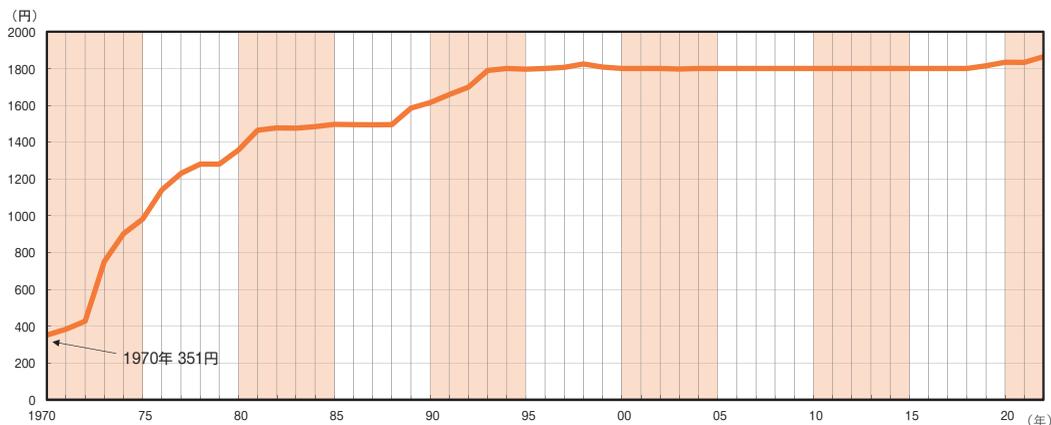
## 小売価格の年次推移（東京都区部）

# 映画観覧料

映画観覧料の価格の長期的な推移をみると、1970年には351円でしたが、70年代と90年前後に上昇し、その後は長らく横ばい傾向となっています。



「映画観覧料」（1回）の価格の年次推移



※ 2015年1月より調査員が調査する品目から総務省が調査する品目に調査区分が変更されたため、2014年以前は東京都区部、2015年以降は全国の価格となっています。

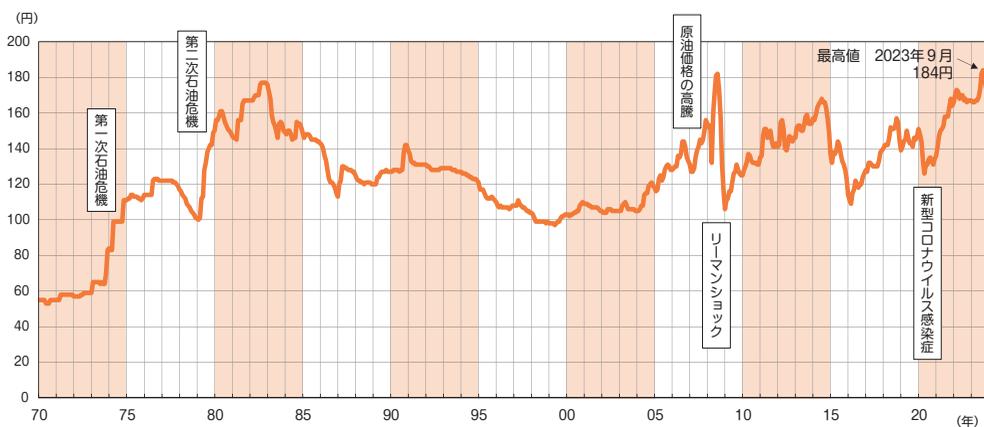
## 小売価格の推移（東京都区部）

# ガソリン

ガソリンの価格の長期的な推移をみると、国外を含めた様々な社会情勢等により、価格が大きく上昇、下落していることがわかります。



「ガソリン（レギュラー）」（1L）の価格の推移

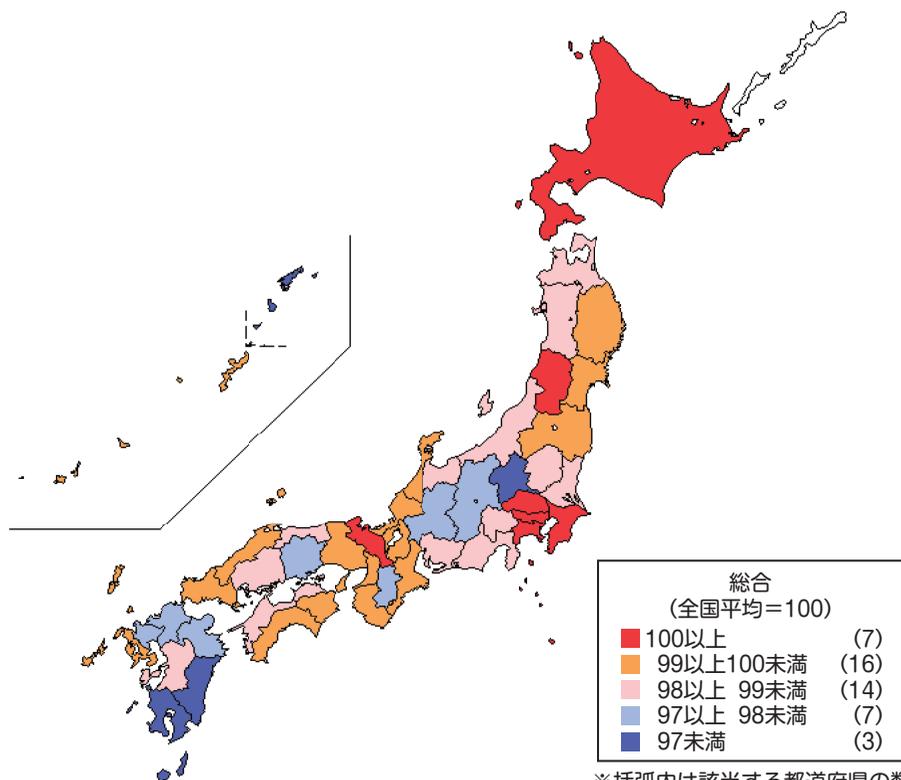


## 都道府県別の物価水準

2022年平均消費者物価地域差指数（全国平均＝100）の「総合」を都道府県別にみると、東京都が104.7と最も高く、次いで神奈川県（103.1）などとなっています。

一方、最も低いのは宮崎県（96.1）で、次いで群馬県（96.2）などとなっており、宮崎県は5年連続で最も低い都道府県となっています。

消費者物価地域差指数（総合）（都道府県）（全国＝100）



※括弧内は該当する都道府県の数